

2008年5月7日

アンサンブル・エテルナ

代表 関野 聡

ブラジル日本人移民 100周年記念公演団長 齋藤 武彦

## アンサンブル・エテルナ ブラジル日本人移民 100周年記念公演について

合唱団「アンサンブル・エテルナ<sup>\*1</sup>」は指揮者の千葉芳裕氏<sup>\*2</sup> およびエレクトーン奏者の小林由佳氏<sup>\*3</sup> と共にブラジル日本人移民 100周年記念公演を、ブラジル連邦共和国にて行いますのでお知らせいたします。

2008年は、1908年6月18日に第一回の日本移民団がブラジル連邦共和国サントス港に到着してから100年目にあたります。この記念すべき年に、同国パラナ州ロンドリーナ市<sup>\*4</sup>におきましても日本移民100周年記念式典が開催される予定です。アンサンブル・エテルナは、その式典の一環である6月21日 オラシオ・コインブラ講堂における演奏会に、メインゲストとしてロンドリーナ文化体育協会より招待を受け演奏することになりました。

また翌22日には、ロンドリーナ中央大聖堂において行われる日本人移民100周年記念特別ミサに参加して歌う予定になっております。

### 1. アンサンブル・エテルナ ブラジル日本人移民 100周年記念公演について

ロンドリーナ市の日本人移民 100周年記念事業の一つとして開催されるオラシオ・コインブラ講堂における演奏会に、ロンドリーナ文化体育協会からメインゲストとして招待されました。アンサンブル・エテルナではこの公演をブラジル日本人移民 100周年記念公演と呼称しております。

日 程：2008年6月21日（土）19時 開演

演奏会場：オラシオ・コインブラ講堂（ブラジル連邦共和国パラナ州ロンドリーナ市）

合唱：アンサンブル・エテルナ

エレクトーン：小林由佳 西川恵理香

指揮：千葉芳裕

演奏予定曲目：ヴィクトリア作曲 モテット及びミサ曲 おお、何と栄光に満ちた王国  
林光編曲 混声合唱による日本抒情歌曲集から  
エレクトーン演奏  
ブラジルの合唱曲から

### 2. ブラジル日本人移民 100周年記念ミサについて

現地の聖歌隊と合同で記念ミサに参加いたします。

日 程：2008年6月22日（日）19時 開始

教会名：ロンドリーナ中央大聖堂（ブラジル連邦共和国パラナ州ロンドリーナ市）

協力と感謝：本公演の実現に関しましては株式会社日本航空殿より旅費のご支援をいただいております。

また、本公演ではヤマハ株式会社殿のご好意により、日本移民 100周年を記念してロンドリーナ市に同社より寄贈される予定のエレクトーンを使用させていただきます。

この場をお借り致しまして多大なご協力を賜りました両社に感謝申し上げます。

本件に関するお問合せ先：<http://form1.fc2.com/form/?id=297888>（Webのお問い合わせフォーム）

誠に申し訳ございませんが、団員は他に本業を持っているため電話でのお問い合わせに回答することが難しくなっております。本件に関するご質問などは、Webサイトのお問い合わせフォームからお願い致します。ご理解の程お願い致します。

以上

\*1 アンサンブル・エテルナ ( ENSEMBLE ÆTERNA )

1991年7月結成。少人数という条件を活かしお互いの声を聞き合うことによって生まれる澄んだハーモニーをつくることを目標に、ルネサンス期の合唱曲を中心に音楽活動を行っている。指揮者は千葉芳裕氏。  
2008年5月23日(金)第17回定期演奏会をカトリック碑文谷教会(サレジオ教会)にて開催予定。  
過去の演奏会履歴を添付いたしました。またその他の情報に関しましては Web サイトにて公開しており  
ます。

<http://www.geocities.co.jp/MusicHall/1067/info.html>

\*2 千葉 芳裕 (ちば よしひろ) 指揮者

国立音楽大学卒業。指揮を若杉弘、三澤洋史の各氏に師事。1997年12月東京室内歌劇場第90回公演ヒンデミット作曲《長いクリスマスディナー》(グローブ座)で、オペラ・デビュー。2000年8月「日生劇場サマーフェスティバル2000」において《くさびら》《羽衣》を指揮。2001年より芸大オペラ定期《ドン・ジョヴァンニ》《ウィンザーの陽気な女房たち》《フィガロの結婚》《コジ・ファン・トゥッテ》《ティトの慈悲》《セヴィリアの理髪師》の合唱指揮を務めている。

2002年5月の東京室内歌劇場第100回記念公演《ファルスタッフまたは3つのいたずら》では急遽、若杉弘氏の代役を務める。海外ではフランス(パリ)、イタリア(ミラノ)、韓国(ソウル)、国内では新国立劇場、琵琶湖ホール等で著名な音楽家の公演を成功に導いた。さらに12月プフィツナーの《クリスマスの妖精》を指揮し好評を博す。2003年には、秋田市建都400年記念オペラ《押し花の愛》《椿姫》(京都春秋座)を指揮。2005年韓国国立劇場においてレハール《微笑みの国》ブリテン《真夏の夜の夢》を、つくばオペラフィオーレで《こうもり》を指揮。2006年ルスコアール管弦楽団で《火の鳥全曲版など》我孫子声楽科協会で《フィガロの結婚》を指揮。2007年には横浜シティーオペラで《ヘンゼルとグレーテル》を指揮した。  
現在 東京藝術大学オペラ科講師、アンサンブル・エテルナ指揮者。

\*3 小林 由佳 (こばやし ゆか) エレクトーン奏者

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学研究科修了。故三宅民規氏に師事。ピアノと共にエレクトーン音楽の新しいかたちを模索し、自らの編曲によりオペラ、器楽伴奏を数多く行う。海外ではパリ、ミラノ、ソウル、国内では新国立劇場、琵琶湖ホール等で著名な音楽家たちと共演。オペラで共演した演奏家は栗林義信氏(Ba)、中沢桂氏(Sp)、錦織健氏(Tn)、塩田美奈子氏(Sp)、畑中良輔氏(合唱指揮)など多岐に渡るが、特に水戸芸術館「魔笛」では音楽評論家吉田秀和氏よりその演奏を朝日新聞誌上で高く評価された。

また合唱では慶応大学ワグネル、日本合唱協会と共演のほか、97年より横浜開港祭で毎年 J-POP アーティスト(財津和夫氏、金子マリ氏、Rua、沢田知可子氏、タケカワユキヒデ氏など)と市民 1,500 人コーラスとの共演におけるエレクトーンアレンジ並びに演奏を担当している。05年韓国国立歌劇場で編曲・伴奏した「微笑みの国(レハール)」は韓国 MBS テレビでドキュメンタリーが放送された。07年5月には国際的衣装デザイナー、ワダエミ氏が彦根城築城 400 年記念に主催した能楽堂コンサートで高円宮妃の前で編曲・演奏し、琵琶湖テレビで放送された。また同年7月には多摩ニュータウン野外コンサートで久保田巧氏と共演。バイオリンとエレクトーンによるコラボレーションが好評を博した。現在東京音楽大学、昭和音楽大学講師。アンサンブル・エテルナとは05年の第14回、07年の第16回演奏会に引き続き5月23日の第17回演奏会でも共演予定。

\*4 : ブラジル連邦共和国ロンドリーナ市 日系人が多く、兵庫県西宮市、沖縄県名護市と友好都市関係を結んでいる

参考：以下はインターネットでの検索結果です。内容に関しましては、当団は責任を負っておりませんので  
ご了承ください。

ロンドリーナ市公式ページ <http://www.londrina.pr.gov.br/english/index.php3>

日本語による紹介ページ <http://www.discovernikkei.org/forum/en/node/2086>

ロンドリーナ市略史 <http://sim.nilim.go.jp/mcs/kennkyuHP0210/reports/Londrina/ryakushi.html>